平成29年度　第3回　大阪府立佐野工科高等学校　定時制の課程　学校協議会

１　日　　時　　平成30年2月15日（木）　午後18時～午後20時

２　場　　所　　大阪府立佐野工科高等学校　　校長室

出席者　　委員：松崎　保弘　　田脇　光浩　　熊取谷　要　　本橋　正雄

（敬称略）

事務局：山田　啓次　　山口　昌志　　藤原　瑞穂　　山田　真平　　藤元　雄一郎

野間　圭吾

３　内　　容

（1）准校長挨拶

（2）本校の現状について

①平成 29 年度進路状況

②学校自己診断結果

③平成 29 年度学校評価　及び　平成 30 年度学校経営計画

④各分掌より現状報告

（3）協議

①　学校経営計画進捗状況について

②　その他

協議内容について

〇門番の効果はあるが教員が減る。これに対する課題に方策はあるのか？（委員）

・ICT化（門にカメラを付け、カメラを見ながら生徒と話すというようにしたいが、プライバシーの関係がネックとなっている。（学校）

〇防犯カメラの設置をしない方がおかしいのではないか？（委員）

・教員のコミュニケーションにもなっているし、遅れて来た生徒とのコミュニケーションの場になっているので、基本的には人員増をお願いしているが、経済面で無理である。（学校）

〇定時制生徒の減少について

・定時制のニーズがなくなったのかと言うと、そうでもなく勤労学生は少なくなっているが、障がいのある生徒（アスペルガーやコミュニケーション障がい）が増えている。発達障がいなどの生徒は、ある能力が優れていたりするが、コミュニケーション能力がないなど、優れた能力をしっかり伸ばすという場に定時制を持って行くようにすれば良いのではないか？（委員）

・支援学校へ送られる生徒には、支援学校が得意とする障がいのある生徒でない生徒が入学するミスマッチが起こり、支援学校の教員も混乱している状況がある。（委員）

・支援を必要とする生徒を定時制で教育する新しいシステムを作る土壌は、大阪府の定時制にはあるのではないか。（委員）
〇学校のイメージアップについて、生徒が中心になってやっているとは？
・生徒会が中心となって出前授業を行っている。生徒は、一生懸命教えるので、定時制の生徒もよく勉強する。しっかりした子だと小学校の教員や児童もわかってくれている。（学校）
・下駄つくりも生徒が作っていたが、全日制の生徒がやっていると思われているが、全定同じで佐野工科高生が良くやっていると思われていれば良いと思っている。（学校）
・生徒がほかの学校にない地域連携などでだんだん生徒の意識も変わってくるだろう。これに関しては、長期的に見なければならないのではないか。（委員）
・こういうものなら生徒が参加できるというメニューのようなものはないのか？作って自治会にも示したり、ホームページにも出すようにすればいいのでは。（委員）
・進路状況が好転していることに関しても元公開すれば、学校斡旋による就職が多いということでアピールしては？（保護者にも知らせる）（委員）
・次回は斡旋を希望する生徒を増やしてゆきたい。（学校）
・校長の計画で、途中で成果のあるもの、まだ成果の出ていないものなどあるので、引続き目標に向かって努力してほしい。（委員）